

第十一回「前田純孝賞」入賞作品

前田純孝賞

(中高校生の部)

透明なコップの中の青い海ぐつと飲み干し弾くドビュッシー

大阪府立夕陽丘高等学校

光井 誠人

何げなく交わす言葉が嬉しくてほほえみ返すひまわり畑

兵庫県立八鹿高等学校

村上 あかり

(大学生の部)

東京の顔ぬぎ娘にかえる日よふるさとはいつも母のいる場所

青山学院大学

小澤 智美

純前田純孝賞

(中高校生の部)

引き潮を眺めているとどうしてか嫌われている感じがしてくる

宮城県名取市立みどり台中学校

吉田 多聞

勉強中あなたのことを考えた今何している誰想ってる

学校法人成徳学園神戸龍谷高等学校

林 侑

荒れ狂う雪の海にも惹かれるが雪解け後の芽の海も良い

兵庫県立浜坂高等学校

山本 拓未

早く来て見つけて欲しい見て欲しい林檎になった私のことを

大阪教育大学附属平野中学校

高田 星良

(大学生の部)

甘ったれた遺書は浜辺に置き去って地平線までカモメを飛ばせ

早稲田大学大学院

白辺 いづみ

鈍色の海は冷たく張りつめて我を離さぬ冬の日曜

放送大学大学院 小林 典央

新温泉町長賞

(中高校生の部)

芝の海弓ひきしぼる友の顔火射る姿りりしくひかる

和歌山県串本高等学校

宮元 浩武

寂しげにささやく波の音聴けばまるで心が背伸びするよう

岡山朝鮮初中級学校

朴 鐘 基

大空に紙飛行機を飛ばすようにあなたに思いを伝えられたら

埼玉県玉川村立玉川中学校

千葉 彩緒里

私には思いつかべる海がないいつの日か海で泳いでみたい

兵庫県立摩耶兵庫高等学校

森安 沙織

何度でも振っていいから一度でも私を見てよホントの私

兵庫県立神崎高等学校

藤原 春香

去ってゆく背中を見るのはつらいからせーのでわかれた手を振りながら

兵庫県立八鹿高等学校

片山 弘美

荒れ狂う海をなだめるかのように空から白い雪が降りくる

兵庫県立浜坂高等学校

今崎 真吾

亡き祖父の時計の螺子巻く秋の夜昔を生きた声を聞きたし

大阪府柏原市立玉手中学校

脇田 麻優香

潮風を受けて前へと走り出す強くにぎったたすきを持って

兵庫県新温泉町立浜坂中学校

西村 沙貴子

こっそりと増やした空白メモリーは聞けない君のメールアドレス

大阪府立夕陽丘高等学校

加藤 未生

(大学生の部)

七ヶ月ぶりと思えば柔らかな響きとなりぬ父へ「お帰り」

早稲田大学大学院

伊藤 実希子

寒空の下に見つけた日だまりは寂しさ溶かすあなたの笑顔

青山学院大学

千葉 紘子

連絡道本州江ノ島その内の切り取られたる大洋哀し

筑波大学

小川 杏奈

気づかずに築いた絆キスをせり傷つかなくて傷しかななくて

静岡文化芸術大学

水野 広太郎

同じ海それでもいつも違う海日々変化する人と同じだね

同志社大学

藤谷 美緒

新温泉町教育長賞

(中高校生の部)

そばにいてこの歌とどく場所にいるでも届かない私の心

埼玉県玉川村立玉川中学校

房野 実希

桜色あなたの好きな桜色今は私の大好きな色

兵庫県新温泉町立浜坂中学校

川崎 明由美

夏の日にかわした約束守るためゴール目指して私は泳ぐ

大阪教育大学附属平野中学校

横田 朋子

銀杏舞う夕暮れ時のこの道を寒いね寒いね言い合い帰る

兵庫県香美町立射添中学校

谷口 恵子

波が来て裸足の足を包み込む私を全て蕩かすように

徳島県城ノ内高等学校

川島 裕子

君が言う言葉一つで浮き沈みあなたの海で泳ぐ私

大阪府立夕陽丘高等学校

久龍 直美

青春の真っ只中の十八歳マークシートが虚しく見える

大阪府立夕陽丘高等学校

山本 美恵

君が呼ぶ私の名前うれしくて自分の名前かわいく思う

大阪府立夕陽丘高等学校

大西 茜

おじいちゃん絶対どこにも行かないで私も一緒に頑張るから

兵庫県立八鹿高等学校

高階 真帆

思い出は君がいるから出来たもの何も告げずに遠ざかる背中

兵庫県宝塚市宝梅中学校

野村 武司

(大学生の部)

荒波へ風がいざなう渡り鳥気高き翼しぶきで光る

大阪国際大学 井上 泰明

いつの日が終わるかもしれないこの恋に君も全力でぶつかってくれ

青山学院大学 若林 美幸

寄せて引く波のリズムは繰り返し生命の歌を紡ぎおるかな

仏教大学 綿貫 明日香

すれ違う列車待つ間に白波の立ちて日本海暗みゆくなり

兵庫教育大学大学院 渋谷 義人

夏の世界無限の青を創り出す空の彼方と混ざることなく

東京農業大学 宮永 幸則

神戸新聞社賞

(中高校生の部)

砂浜で感じる地球の静かな息打ち寄せる波と過ぎていく風

兵庫県立八鹿高等学校 早崎 諒

秋の道落ち葉踏みしめ歩くときザツクと音がするその音が好き

兵庫県立鈴蘭台西高等学校 藤盛 亜希

「ごめん」とも「ありがとう」「さえ言えぬまま過ごした日々よからっぽの心

兵庫県立鈴蘭台西高等学校 品田 理江

だあい好き！びっくりしてる君の顔本当はドキドキ私の笑顔

長野県豊科高等学校 宮澤 結花

見てほしい明るい君を追う私はまるで向日葵みたい

自修館中等教育学校 細谷 香桜里

聞こえてくる鳥のさえすり聞こえてくる実の落ちる音リスのおしゃべり

奈良県奈良市立飛鳥中学校 井上 春華

いさり火の小さな輝き消えてゆく水平線のはるか彼方へ

兵庫県香住町立香住第二中学校 山盛 裕美

青空にぶかぶか浮ぶ白いふね心がまつしる気持ちいいよね

岡山朝鮮初中級学校 鞠 千香

君と会い話して笑える幸せを表す言葉を持っていません

三田学園高等学校 大西 隆史

舟のように波にゆられる恋ごころたどりつくのはあなたのところ

近畿大学附属豊岡高等学校 宮本 遼

(大学生の部)

青い海すくえぬ蒼さよ遙かなるゆるくまあるい水平線

名古屋造形芸術大学短期大学部 石田 愛

月こそは陽の光にて映えるなら私は貴女の月でありたい

信州大学 森下 孟

撤退の汚泥の道に乱れ散る死人の数を群とは呼ばず

東京基督教大学 成沢 未来

片恋はいつまでつづく秋冷にあってせつないレゾンデートル

早稲田大学 石川 大介

好きなんだドラマのように言えたなら心はどんなに晴れ晴れ天気

北星学園大学 山神 優仁

佳作

(中高校生の部)

想う人あなたにだけはアマノジャク「あなたの事が嫌い」だと

兵庫県立和田山高等学校 和田 茉莉

ここにいる今過ごしているこの時間あの人待つため青春おくる

兵庫県香美町立射添中学校 水口 真優

喜びと幸せつもる恋心一億分の二人なのだから

近畿大学附属豊岡高等学校 太田 まき

夏の日に浜辺で拾った貝殻はともきれいで宝石のよう

宮城県名取市立みどり台中学校 竹中 絵理

柔道にすべてをかける僕たちはいつかになりたい世界の王者

兵庫県社町立社中学校 酒井 洸輝

騎馬の上に友達を乗せ突進す大きな力を両肩に受け

兵庫県宝塚市立宝梅中学校 道岡 利文

側にいてうんと頷く横顔に話しかけるの君が好きです

富山県立高岡南高等学校 森 雅湖

香水とたばことシャンプー入り混じり嫌いで好きな君だけの匂い

兵庫県立鈴蘭台西高等学校 竹村 綾乃

ぼろぼろになったアルバムめくるたびに心に響く渚の音が

山形県新庄市立新庄中学校 佐藤 恵里香

聞き慣れた自分の名前を聞いただけで口元ゆるむ園児が呼ぶから

兵庫県新温泉町立夢が丘中学校 坂本 なつき

テスト前になぜかメールをしてしまい直前になりあわてるあたし

柳学園中学校 松崎 由佳

「がんばって」応援してはいるけれど心の中では「無理しないで」と

岡山朝鮮初中級学校 崔 惠瑛

白い息無邪気に笑う横顔をずっと隣でみつめていたい

大阪教育大学附属平野中学校 田中 真理菜

「何色が愛の色なの？」その色であなたにいつぱい手紙を書くの

大阪教育大学附属平野中学校 越田 有

春の日の夕暮れどきによみがえる言いたい気持ち言えない気持ち

大阪教育大学附属平野中学校 長谷部 慧

トンカチの音が静かに鳴り響く父を思いついて夜に目覚める

兵庫県新温泉町立夢が丘中学校 岸 洋志

メールでは君の言葉は届くけど君の心はわからないまま

学校法人成徳学園神戸龍谷高等学校 植篠 妙子

リバウンドとりにくい君にみとれててディフェンスせずにおこられちゃった

大阪教育大学附属平野中学校

松本 昂大郎

暑い夏一人で歩いた海岸線なんだか悲しくなっちゃった

兵庫県立浜坂高等学校

前田 一成

海猫を見るならやはりふるさとの蕪島あたりが一番だと思う

宮城県名取市立みどり台中学校

工藤 嶺也

冬の海波が来るたび考えるどこかに見えるぼくらの未来

兵庫県立鈴蘭台西高等学校

原田 彩

海の上カヤックとめてふと気づく一人でここにいる寂しさを

兵庫県神戸市立神陵台中学校

垣内 彬

潮風の匂いととも耳に届く昔のままの父の鳥唄

宮城県名取市立みどり台中学校

熊谷 沙紀

校庭を横切る風にさえぎられ伝えずにいた君への思い

兵庫県宝塚市立光ガ丘中学校

藪中 栞

広い海に私は一人残されてふと見上げれば笑う空あり

兵庫県神戸市立神陵台中学校

長谷川 美幸

ある山の小屋でねている少年は夢で泳ぐまだ見ぬ海で

大阪教育大学附属平野中学校

三木 優樹

金平糖パステル色の粒々は君とあたしの思い出のよう

大阪教育大学附属平野中学校

早川 真由

部活中の楽器をおろし外を見るオレンジ色が海に広がる

兵庫県新温泉町立浜坂中学校

谷口 咲貴子

日本海浜から見える漁火は浮んだ町の電灯みたい

兵庫県立浜坂高等学校

池田 真利

結論はまだ出さぬまま書きはじめ君への手紙風止みしのみ

東京都立飛高等学校

岡本 穂乃香

入選

(中高校生の部)

好きやけど伝えられないこの気持ち誰か私に勇気を下さい

兵庫県立神崎高等学校

小林 瑞穂

なにげなくにぎるその手は温かくこの距離はもう忘れられない

大阪府立夕陽丘高等学校

上野 彩

公園でトコトコワンワン走り出す走った後は可愛い寝顔

兵庫県立鈴蘭台西高等学校

斎藤 翠

太陽が水面にダイヤ散りばめて私の朝に勇気をくれる

柳学園高等学校 山形 美津希

制服がほこりをかぶる夏休み夏の終わりを感じてしまう

柳学園中学校 徳梅 奏子

「もう飛べる?」「まだ飛べない」とおじけづくヒナの姿を見守る瞳

兵庫県立和田山高等学校 岡田 和子

引き潮にびっくりしたから口開けた海を初めて見た時だった

宮城県名取市立みどり台中学校 小泉 春奈

あの海が空の青をうつすように私は何をうつしていいこう?

兵庫県立浜坂高等学校 宮本 舞

鳴り響くザッパンザッパン海は鳴るもっともっと高く鳴り響く

兵庫県新温泉町立浜坂中学校 片村 光助

漁船港白い海辺に止められた赤い自転車キラキラヒカル

大阪教育大学附属平野中学校 小川 朝子

ウミガメの母さんがなく砂浜を母なる海がやさしく包む

大阪教育大学附属平野中学校 藤岡 沙季

船に乗り七つの海をまたにかけ夢ではいつも航海中

大阪教育大学附属平野中学校 勝山 祥千子

アオリイカ一回釣ったらやめられない授業中にも心は海に

兵庫県新温泉町立浜坂中学校 松岡 浩永

ヨイコラと船の上から呼ぶ声にこえるように立つ波しぶき

大阪教育大学附属平野中学校 吉住 友宏

透明で空の鏡になつたとき歌を無くして色を得た海

大阪教育大学附属平野中学校 古園 晃栄

寒い外くもった窓の向こう側小さい子供が遊んでいる

兵庫県立八鹿高等学校 畑山 桃子

あの頃はただ父さんとか呼ばなくてただ今なら親父と呼べる

兵庫県立八鹿高等学校 吉井 奨

その声がずっと聞きたいもう君は電車の中で下を向いてた

埼玉県玉川村立玉川中学校 長沼 優依

怒ったり穏やかだったり海の波今日は少しうれしそう

長野県豊科高等学校 倉科 あや美

あたためたコートに感じる母の愛自転車走らす朝もやの道

京都府福知山成美高等学校 野島 亜悠

荒れる海力二をもとめて出航する父の姿に僕ははげむぞ

兵庫県立浜坂高等学校 山崎 翔己

大変な夏の特訓身について私の夏の思い出となる

兵庫県社町立社中学校

宮崎 梓

夕風に鳴き声止める海鳥よおまえも母の胸へと帰ろう

宮城県名取市立みどり台中学校

鵜野 寿美子

暖かい瀬戸内海の風を受け心も体も成長した十五年

兵庫県明石市立錦城中学校

米澤 由佳子

雨の音二人の声を消してゆくそれでも伝わる互いの気持ち

長野県豊科高等学校

庵谷 真美

秋日和雪の重さに耐えるよう慣れぬ手つきで縄を持つ父

兵庫県香美町立射添中学校

中村 美希

海の先空の繋がり続いている波は両方旅をしている

兵庫県立浜坂高等学校

西垣 裕理

通学路後ろ姿を探してた会っても話はできなかったけれど

岡山朝鮮初中級学校

河村 希

十秒間に一本シユート決まるはず時間よ止まれみんなで願おう

兵庫県香美町立射添中学校

田中 友香理

時動く空見ればあの時の自分がそこで泣いている

兵庫県香美町立射添中学校

岸 至昂

ゆっくりと二人で歩く並木道がすかに触れる温もりある手

大阪教育大学附属平野中学校

駒井 宏美

あなたへのいろんな想い重なって僕の心はバクダンみたい

兵庫県立神崎高等学校

藤原 聖

波の上月の光がふわふわと夜明けの波にさらわれてゆく

大阪府立夕陽丘高等学校

松島 加奈

夜の釣り釣竿がちりにぎりしめ投げ釣りしよう大物ねらって

兵庫県新温泉町立浜夜中学校

西岡 涼三

気づくかな?「ママありがとう」と言った後「パパもありがとう」と小さくつけたす

兵庫県立八鹿高等学校

村崎 友紀

テニス部で毎日ボールを追いかける先輩のように優勝するぞ

兵庫県社町立社中学校

藤田 早紀

髪型が変わっていてもその時は照れて言えないカッコイイねと

学校法人成徳学園神戸龍谷高等学校

土谷 美郷

おだやかにつぶやく波の声を聞くもつれた心がほぐされていく

柳学園中学校

森 麻亜弥

母の留守さみしい声でなく小犬遊んでやるからこっちにおいて

兵庫県立浜坂高等学校

木村 明日香

